

情報理工学部 情報システム工学科 【学位授与の方針】

情報システム工学科は、下記の目的に基づき、定められた課程を修得し、関連分野の研究テーマに関する卒業論文を作成提出し、その研究内容を発表し審査を受けて、合格に達した者に対して学士（情報理工学）を授与する。

<教育研究上の目的(理念・目的)>

情報システム工学科は、より豊かな生活や社会を築くため、コンピュータ科学を基盤にして、人間の種々の活動を支援する情報システムの設計・実装・運用に携わる技術者の養成を目的とする。オペレーティングシステム、ネットワーク、データベースなどを基幹構成要素として、情報の収集・処理・流通などの機能を果たす情報システムを実現するための教育、研究を行い、システムの設計からプログラミングによる実現に至るまでの情報システム開発における専門的かつ総合的な技術を身につけた技術者の育成を目標とする。

<学習成果(教育目標)>

1. 情報理工学における基礎知識を有し、社会の要請に応えるために、情報工学の基本技術を活用できる能力があること。
2. 情報技術と関連専門分野の基礎力を有して、自立的に応用展開を図る能力を身につけていること。
3. 情報理工学の知識と技能を用いて、社会に貢献できるエンジニア基礎力を身につけていること。
4. 技術者あるいは研究者としての自覚を持ち、高い倫理観を身につけていること。
5. 幅広い視野から物事を捉え、深い思考と的確な判断を下すことのできる統合された知の基盤としての十分な教養を身につけていること。